

[令和8年(2026年)年頭に当たって]

議員の連絡先は
令和7年12月23日現在

自由民主党 世田谷区議団

明けましておめでとございます。

我々、自由民主党世田谷区議団は物価高をはじめ、激甚化する災害や急激な気候変動から皆様の生活を守るとともに、安全安心で魅力あふれる街、世田谷の実現に向けて以下の取り組みを積極的に進めてまいります。

- 物価高や資源高騰への対応を更に強化し、皆様の生活をお守りするとともに、区政改革を進めます。
- ①区民生活の支援強化(せたがやPay)による対策をはじめ、物価高騰から暮らしを守ります。
- ②地域経済の活性化(区内事業者への経営支援、区内における起業・創業支援策を拡充します)。
- ③就労支援・就業環境向上(学び直しを応援するとともに、職住

- 近接が可能な環境をつくります。
- ④地域活動の推進(支えあい助けあえる地域の絆をつくります)。
- ⑤行政サービスのDX推進(各種手続きのオンライン化等、非来庁型行政を早期に実現します)。
- 生涯を通じたニーズにきめ細かく対応し、健やかに生活できる環境を整備します。
- ①スポーツ・文化の推進(スポーツの場の拡充、音楽や演劇等の文化活動を充実させます)。
- ②健康・長寿の推進(23区トップの健康長寿を目指すとともに、高齢になっても安心して住み続けられる環境を整備します)。
- ③若年層を応援(可処分所得を高め、单身でも結婚後も住み続けられる世田谷を目指します)。
- ④妊娠・出産・育児支援(妊活支援・一時預り事業の拡充等、産前産後のトータルな子育て支援を推進します)。
- ⑤障がい児・障がい者施策の推進

- (個人の特性に応じた支援の充実に努めます)。
- 生活を支える都市基盤の整備や、安全・安心な街づくりを進めます。
- ①都市基盤整備の推進(狭隘道路・開かずの踏切解消など、「世田谷の弱点」を克服します)。
- ②防犯・交通安全対策の強化(特殊詐欺など凶悪化する犯罪や交通事故から皆様の安全を守ります)。
- ③災害対策の強化(首都直下地震やゲリラ豪雨に対し、インフラの強靱化や共助体制を促進するなど万全な備えを構築します)。
- ④学校環境の整備(災害時の避難所にもなる学校の改築を年3校以上のペースで着実に実施します)。
- ⑤みどりの保全(美しい自然を守るとともに、更なる植樹を進めて真夏の緑陰効果を高めます)。

日本共産党 世田谷区議団

新年おめでとございます。
今年こそ世界が平和であるよう、地域から声をあげていきたいと思います。
日本共産党は、憲法9条を守り、核兵器のない平和な世界のために力を尽くします。

物価高騰が暮らしを直撃し、貧困と格差が広がっています。賃上げと消費税減税、区民の暮らしと営業を守ること、医療や介護の崩壊を防ぎ、社会保障や教育、子育て支援の充実が求められます。

国民民主党・ 都民ファーストの会

新年おめでとございます。新たな多党化時代への突入といわれるように社会変容や情報化の加速により社会が大きく変化をする中、私たち党派は、本年も現役世代・子育て世帯を最優先に、区政のア



石原 せいじ
〒154-0017
世田谷1-29-14
☎070-8538-8242



佐藤 美樹
〒156-0045
桜上水4-18-25
☎6379-8300



そのべ せいや
〒158-0097
用賀3-25-18
☎090-6939-7273

生活者ネットワーク 世田谷区議団

謹賀新年。戦後80年の節目を迎えた昨年は、区内外で様々な形で平和を考える機会が設けられた一方、社会全体で格差や分断、不安や憎



おの みずき
〒154-0017
世田谷1-12-14 原ビル2階
☎3420-0737



関口 江利子
〒154-0017
世田谷1-12-14 原ビル2階
☎3420-0737

国籍や性別による差別に反対します。高齢者と若者など世代間の対立を煽るのではなく、人権を尊重する共生社会をめざしましょう。災害に強いまち、住民参加のまちづくり、気候危機対策、ジェンダー平等などを推進し、暮らしを守り、平和で豊かな社会実現のために、今年もがんばります。

世田谷刷新の会

迎春。新しい会派を立ち上げました。区民の生命と財産と生活を守るための政策の推進、地域課題の解決に全力を尽くしつつ、失政が続く保坂区政の刷新に向け、建設的な議論を進めてまいります。



おぎの けんじ
〒158-0093
上野毛4-13-11
☎090-4599-8946

世国 たが都 が都市

新年おめでとございます。VUCAの次は、BANI時代の到来と言われます。客観性よりも主観性を重視し、人を軸として、心の状態に意識を向け、多様な選択肢を提供できる社会を目指します。



お尾 りさ
〒154-0003
野沢2-8-1
☎3418-4648

せたがやの風

新年おめでとございます。子どもから高齢の方まで、世田谷の街が希望に満ち、笑顔溢れる街であるよう全力を尽くしてまいります。明るい世田谷へ、新しい風を起こしていきたいと思います。



つるみ けんご
〒154-0003
野沢4-14-4
☎6322-0575



坂本 みえこ
〒154-0004
太子堂4-5-2
☎090-1762-1417



川上こういち
〒158-0082
等々力2-5-11-102
☎090-8562-6989



中里 光夫
〒155-0033
代田4-33-1
☎090-4367-3294



たかじょう 訓子
〒157-0062
南鳥山6-34-16
☎090-6655-2003



上川 あや
〒156-0051
宮坂2-26-24-203
☎5799-7765

明けましておめでとうございます

立憲民主党・無所属・愛 世田谷区議団

新年あけましておめでとございます。

昨年は国際情勢の不安定化や歴史的な物価高騰が区民生活を直撃し、未来への不安が広がっています。特に現役世代の皆様の生活は厳しさを増しており、不安を安心へと変える政治の責任が問われています。こうした状況だからこそ、私たち党派は「未来への投資」として現役世代への支援を最優先の課題とし、「誰一人取り残さない」世田谷の実現を目指します。

【重点施策】

- ①物価高対策の強化：家計負担を軽減し、地域経済を支えるきめ細やかな区独自策を求めます。
- ②住宅政策の推進：子育て世帯や



なか つか
中塚 さちよ
〒156-0054
桜丘 2-24-13-101
☎3429-6078



さくら い じゅん こ
桜井 純子
〒157-0062
南鳥山 6-8-7 楽多ビル 3C
☎3326-1321



オルズグル
(準備中)
☎070-8817-4400



はね だ けい じ
羽田 圭二
〒158-0092
野毛3-6-22
☎3702-3550



なか やま みずほ
中山 みずほ
〒154-0015
桜新町1-25-25
☎080-4634-2547



はら だ りょう ま
原田 竜馬
〒155-0031
北沢 3-27-4 立木ビル2F
☎090-4619-0989



ふじ まな
藤井 まな
〒154-0012
駒沢2-12-1
☎080-1085-3624



みや かおり
〒157-0062
南鳥山 5-26-1 1F
☎070-2636-5022



若者が区内に住み続けられるよう、良質な公的住宅の整備や家賃負担の軽減策を強力に推進します。

③交通政策の推進：区内どこでも安心・安全に移動できる交通ネットワークの整備と、持続可能な公共交通の維持・強化に努めます。

④子育て・教育環境の充実：教育の質の向上と多様な学びの保障を軸に、すべての子どもたちを育む切れ目のない支援に取り組みます。

⑤高齢者福祉の充実：誰もが健康で生きがいを持って暮らせるよう、地域包括ケアシステムの強化と生活支援を推進します。

区民の皆様の声に真摯に耳を傾け、その想いを区政に反映させ、区民目線の政治を実現すべく、全力で取り組んでまいります。

本年が、皆様にとって希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

公明党 世田谷区議団

新春を迎え、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

公明党は「大衆とともに」との立党精神を原点に、クリーンな政治の実現と、平和・福祉・教育を柱に、国政において野党として新出発いたしました。

特に、若者・現役世代の「将来への安心」に向けて総合的な対策として、ジャパンファンドの創設、奨学金減税等に取組みます。

喫緊の区政課題として、以下5項目に取組みます。

- ①物価高騰対策として、年度末に向けて「せたがやPay」のポイント還元事業の拡充と東京アプリのポイント付与事業の連携を推進します。社会を支える事業者への支援を拡充します。
- ②現役世代の負担軽減へ、子育て世帯や単身者、夫婦のみ世帯などを対象とした賃貸物件への転居や

改革無所属の会

迎春。会派名を変更しました。これからもあくなき改革魂で区議會をリードしてまいります(8面参照)。工事着工以来59年経つてもつながらない恵泉通り、老朽化しても建て替えが進まない小中学校に象徴されるように区政は停滞しています。区役所では区民が窓口で支払った税金や金庫の中に入っ



た な か ゆう こ
田中 優子
〒156-0043
松原4-34-20-309
☎3322-8131



おお ぼ まさ ひろ
大庭 正明
〒157-0063
粕谷3-15-3
☎3307-1179



もも の りょう ま
桃野 芳文
〒157-0066
成城4-33-2-202
☎6751-1781



ひ え し ま しん
ひえしま 進
〒156-0055
船橋5-14-7
☎080-4806-9024



かわ むら みどり
河村 みどり
〒157-0061
北鳥山8-2-16-104
☎3307-4884



おか も のぶ こ
岡本 のぶ子
〒156-0054
桜丘4-25-17-210
☎3427-0557



いた い ひとし
いたい ひとし
〒158-0087
玉堤1-16-28
☎090-3964-1419



たか はし あき ひこ
高橋 昭彦
〒156-0044
赤堤2-30-12
☎3327-0443



さとう ひろと
佐藤 ひろと
〒157-0071
千歳台3-21-14
☎080-5012-0479



ふく だ たえ み
福田 たえ美
〒158-0094
玉川3-21-3-401
☎5797-9825



ひら づか けい じ
平塚 けいじ
〒154-0022
梅丘2-8-9
☎3420-0240



つな し ま ひと し
津上 仁志
〒154-0024
三軒茶屋2-28-11
☎5787-6162

分譲物件の購入に対する助成制度の創設を実現します。

③予防医療を推進し、がん検診受診率向上と早期発見へ個別勧奨の推進と、検診受診のインセンティブとして「せたがやPay」ポイントの付与を実現します。

④誰もが尊厳ある人生を安心して送れるよう、登録事業を備えた高

齢者に寄り添う「仮称」終活支援センター」の設置を推進します。

⑤気候変動に伴うゲリラ豪雨による浸水被害対策と、温暖化対策に効果がある「Eco住宅補助金」の拡充を推進し、サステイナブルな社会を構築します。

皆様のお力添えをいただき、政策実現に取り組んでまいります。

世田谷無所属

謹賀新年。自転車の安全利用・ゲリラ豪雨対策・図書館・高齢者施策・保育・教育等、本年も区民の皆様の立場に立ち、多くのの方の声を区政に反映させてまいります。本年もよろしくお願いたします。



はうち ゆう こ
ひうち 優子
〒155-0033
代田3-26-6-305
☎6691-4985



無所属

迎春。本年も、子どもが輝き、認知症の方が自分らしく暮らせる世田谷の実現に向け尽力します。また保護司や民生児童委員をはじめ、日々地域を支えている方々を応援する取組を推進していきます。



あお ぞら こう じ
青空 こうじ
〒156-0041
大原1-39-1
☎3485-2726



わか ばやし り さ
若林 りさ
〒154-0004
太子堂2-17-5 佐藤ビル3階
☎070-9086-6513

日本維新の会

新春を迎え、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。次世代への投資や動物福祉を進め子どもから大人まで誰もが輝く世田谷を目指し安心して暮らせる未来への希望を育む街づくりに努めます。



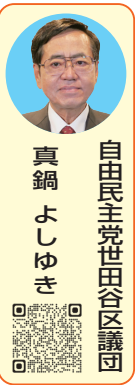
おか がわ たい き
岡川 大記
〒158-0092
野毛1-3-15
☎080-3762-9187

参政党

謹賀新年。今年も繋ぐをテーマに、①世代を超えて教育で地域を繋ぐ。②次世代に素晴らしい日本を繋ぐ。③正しい情報で区民と行政を繋ぐ。皆様希望を持って生きていける街づくりに取り組んでまいります。

代 表 質 問

11月26日及び27日の本会議で、5名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



自由民主党世田谷区議団
眞鍋 よしゆき

惠泉通りの土地占有者との交渉

質問 さきの決算委員会で区長は、惠泉通りの土地占有者との明渡し交渉に関し残された時間は少ないと答弁した。そうした考えならば、期限を定め区長が直接交渉に臨め

区長 先日直接お会いしており、引き続き強い決意で交渉を進める。

狭あい道路解消への取組の強化

質問 区内では狭あい道路の後退用地に自転車などが置かれる例が散見される。防災上大きな問題であり、条例で支障物の設置を禁止する杉並区を参考に対策を講じよ

防災課長 条例改正を視野に支障物などへの対応を検討する。

都立祖師谷公園の整備の加速化

質問 祖師谷公園は都市計画決定から約70年たつが、都の整備は一向に進まない。区が計画区域内の生産緑地を先行取得し都に売却するなど、主体的に整備に関与せよ

みどり推進部長 都に早期整備を強く求め、区としても検討を深める。

緑の保全と創出に向けた支援拡充

質問 区内の緑の保全や創出には区民の協力が不可欠だ。みどりのトラスト基金を活用して保存樹木の所有者へ奨励金を交付するなど、緑化に取り組む区民を支援せよ

みどり推進部長 他自治体の事例も参考に支援拡充の手法を検討する。

バス路線維持に向けた事業者支援

質問 コミュニティバスは公共交通不便地域の解消に寄与し、区民の生活に欠かせない存在だ。バス路線を維持するため、運転手不足などに苦しむ事業者を支援せよ

副区長 運行の維持・確保に向け、具体的な支援を積極的に検討する。

持続可能な介護人材確保策の推進

質問 高齢者福祉の充実に向け、介護人材の確保に一層注力すべきだ。地域の福祉施設などと連携して就労体験の機会を設けるなど、持続可能な人材確保策を講じよ

高齢福祉部長 人材の確保と育成に効果的な支援を着実に進める。若者の力を生かした地域活性化

質問 若者の力を地域の活性化につなげるべきだ。児童館を地域活動の拠点に位置づけることも、商店街や町会などと連携して若者が地域で活躍できる場を整えよ

子ども・若者部長 若者が地域の中で活躍できる社会づくりを進める。

子ども食堂への支援体制の強化

質問 子ども食堂は地域の支え合いや多世代交流に加え、食品ロス削減に資する活動だ。広く周知し協力者を増やすとともに、地域福祉の拠点と捉え継続的に支援せよ

副区長 地域の力を生かした持続可能な支援体制の構築を目指す。

プラスチック分別収集の機運醸成

質問 2030年からのプラスチック分別収集の実施に向けて着実に準備を進めるべきだ。分別の意義を区民に周知し機運醸成を図るとともに、安定した収集体制を構築せよ

副区長 分別の必要性の周知や、計画的な人員確保などに取り組む。

かかりつけ医の有用性の周知啓発

質問 かかりつけの医師や歯科医、薬局を持つことは継続的な健康管理に有用だが、若年層には十分浸透していない。区内三師会と連携し重要性を積極的に周知啓発せよ

副区長 幅広い世代に伝わるよう工夫を重ね、周知啓発に努める。

千歳烏山駅周辺まちづくりの推進

質問 我が会派は国から先行取得した土地を駅周辺まちづくりに活用するよう再三求めてきた。千歳烏山駅周辺の再開発の議論が進む今、区は早急に活用方針を示せ

区長 当該用地の段階的活用を図り駅周辺の都市計画事業を進める。

千歳烏山駅周辺の公共施設の集約

質問 千歳烏山駅周辺では支所や区民センターなどが分散しており、大変不便だ。区民の利便性を高めるため、駅周辺再開発を好機と捉えて公共施設の集約化を実現せよ

区長 区民センターの建て替えを機に集約を図る構想を練っている。



立憲民衆無所属世田谷議団
中塚 さちよ

区政課題に対する区長の見解

質問 我が会派は現役世代や中間層への施策が不十分であることを再三指摘し、住宅政策や教育政策について提案をしてきた。区長が考える区政の重要課題とは何か

区長 指摘の方々への支援は極めて重要な課題だと受け止めている。子育て世帯への住宅政策の強化

質問 都は子育て世帯への低廉な住宅の供給に向け官民連携のファンドを創設したが、供給戸数が少なく区民の住宅ニーズに応えられないか疑問だ。区の取組方針を示せ

都市整備政策部長 安心して住み続けられるモデルの構築を都に求めた。入札制度改革の着実な推進

質問 入札制度について区内事業者から最低制限価格の引上げや総合評価方式の見直しを求める声を聞く。真摯に受け止め改善を図れ

財務部長 公契約適正化委員会などの意見を踏まえ、改善を進める。

重度心身障害者への支援の充実

質問 重度心身障害者への支援が不十分だ。受入施設の体制整備など中長期的な目標を明確化し、実効性のある計画を早急に示せ

副区長 具体的な施策の実現に向けて障害施策推進計画を策定する。

将来を見据えた交通政策の方針

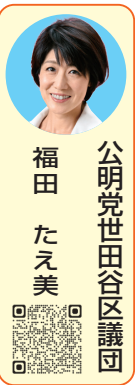
質問 バス路線の廃止や減便が続く、交通不便地域の拡大が懸念される。持続可能な地域交通の実現に向け、自動運転技術の進歩などを見据えた交通政策の方針を示せ

道路・交通計画部長 全体像を示しながら多様な施策を複合的に展開する。

外国籍の子どもと保護者への支援

質問 区では外国籍の子どもが増えており、母国語と日本語の習得が不十分な子どもや日本語が話せない保護者への支援が喫緊の課題だ。今後どう支援していくのか

学校教育部長 学校生活に付随する様々な場面での支援を検討する。



公明党世田谷区議団
福田 たえ美

物価高対策の更なる推進

質問 物価高が長期化する今、家計負担を減らす取組を推進すべきだ。せたがやPayのポイント還元率の上乗せやエッセンシャルワーカーへの支援などを実施せよ

副区長 物価高対策を総合的に検討し早期の実施に全力で取り組む。災害に備えた訓練の強化

質問 区は、関係団体や協定事業者などと連携し物資の配送訓練を実施した。訓練成果を生かし、道路啓開や下水処理停止時のトイレ対応などを含めた訓練につなげよ

危機管理監 道路啓開を含め不測の事態を想定した訓練を実施する。

交流自治体との疎開事業の実施

質問 区外に親族や交流先のない区民が増えている。避難生活が長期化する災害時でも、区民が安全な環境で生活を送れるよう、交流自治体との疎開事業を検討せよ

区長 交流自治体も含め、相互応援協定の締結を更に進めていく。

終活登録制度の迅速な整備

質問 生前に終活関連情報を登録し万一の際に関係機関が情報を活用する終活登録制度は、区民の希望と尊厳を守る基礎となる。終活支援センターの開設前に整備せよ

保健福祉政策部長 終活支援センターの開設と並行し制度設計を進める。

乳がん検診における視触診の廃止

質問 区は乳がん検診で視触診を必須としているが、抵抗を感じる方も少なくない。早期発見への有用性が不明で国が推奨していない点も踏まえ、視触診を廃止せよ

保健所長 指摘の点について、がん対策推進委員会などで検討する。

乳がん検診の勧奨通知の対象拡大

質問 区は乳がんの早期発見に向け、40～69歳を対象に乳がん検診の受診券を送付している。70歳代の乳がん患者が増える状況に鑑み、送付対象を70歳代まで拡大せよ

保健所長 国の標準仕様に基づくシステムの導入に合わせ検討する。

北沢学園中の教育環境の整備

質問 区は不登校などの生徒が通う本校型の学びの多様化学校を開設する。教員が子どもたちと十分に向き合える体制を整備し、生徒の意欲を引き出す学習を推進せよ

教員総合センター 生徒の意欲を引き出せるよう多様な学びを実施する。

稼ぐスポーツ拠点の構築

質問 大蔵運動場の再整備では収益性も重視すべきだ。地域経済への波及効果を高める「稼ぐスポーツ拠点」の構築に向けて、今後どのように整備を進めていくのか

スポーツ推進部長 新たな運営手法に挑戦する機会として検討を進める。

地域の担い手づくりの推進

質問 地域行事への参加でせたがやPayポイントを付与する事業は地域の担い手確保に有効だ。担い手の増加に向け、参加回数に応じて還元率を上げるなど工夫せよ

政策経営部長 町会などの意見を踏まえ柔軟な制度設計を検討する。

現役世代への住宅支援の強化

質問 都は経済的負担の大きい子育て世帯や若年夫婦世帯が低廉な住宅に住めるよう、都営住宅の入居条件の緩和や入居枠の拡充に取り組んでいる。区営住宅でも行え

都市整備政策部長 良質な住宅の供給に向け再編、整備の検討を進める。

交通不便地域の解消に向けた取組

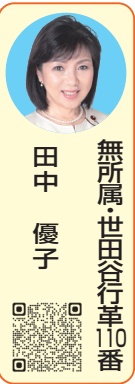
質問 交通不便地域に住む区民の移動手段を確保すべきだ。砧・大蔵地区で実証運行しているデマンド型交通の持続化を図るとともに他地域への展開を着実に進めよ

区長 交通不便地域の解消は重要なテーマであり着実に進めていく。

千歳烏山駅周辺の施設の集約化

質問 区民サービスの一元化と行政の効率化に向け、公共施設を集約すべきだ。まずは烏山区民センターの改築を機に、千歳烏山駅周辺に点在する施設の集約化を図れ

区長 公共施設の分散を解消すべく、集約や再編の検討に着手する。



無所属・世田谷行革110番
田中 優子

区長宅の違法建築疑惑

質問 区長は自宅改築時に口約束で隣地を借りたと言うが利用実態はなく、接道義務を満たすため借りたことにしたと思われる。建築指導事務所は適法と判断したのか

区長 専門家に相談し、その内容を多摩建築指導事務所に報告した。

区長宅の完了検査に係る疑義

質問 完了検査は建築基準法に規定されている義務である。区長宅は検査合格後に交付される「検査済証」がないが検査を受けたのか

区長 建築当時のことについては設計事務所や専門家に任せていた。

区長宅の敷地面積に対する疑問

質問 区長宅の改築時の資料を見ると建て替え前の台帳記載事項証明と建て替え後の不動産登記で敷地面積が異なる。その理由を示せ

区長 借用していた土地を返却したため、面積に違いが生じている。

議会軽視を繰り返す保坂区政

質問 区はマンション防災事業の延長について予算案を議決する前に区民に周知するなど、議会の信頼を損なう行為を繰り返している。議会を軽視する姿勢を即刻改めよ

副区長 指摘を重く受け止め、議会への説明責任を徹底していく。

拙速な空襲被害者支援の見直し

質問 区民の要望や十分な議論もなく空襲被害者に見舞金を支給するのは拙速だ。まずは区長会で支援策づくりを提案し議論を深めるべきである点からも事業を見直せ

障害福祉部長 区長会で区の取組を紹介するなどして働きかける。

実効性がない住宅施策の見直し

質問 区は子育て世帯や若年夫婦世帯の定住促進に向けて区内で家を購入する場合に30万円を助成する方針を示したが、実効的とは到底思えない愚策だ。実施を見送れ

都市整備政策部長 アンケート結果を踏まえ支援が必要だと考えている。

代 表 質 問



代表質問、一般質問の模様を
ホームページで録画配信しています。
世田谷区議会 議会中継 で検索！



日本共産党世田谷区議員
中里 光夫



高市新政権に対する区長の評価は

【質問】 高市政権は軍事力の強化や非核三原則の見直しなど「戦争国家」づくりをやめ、国民の暮らしを守る政策を進めるべきだ。区長は新政権をどう評価しているのか。

【区長】 非核三原則の見直しは反対であり、堅持を求めている。違法状態の生活保護基準の是正を

【質問】 2013～2015年の生活保護基準引下げは、利用者の生活に大きな打撃を与えた。引下げに対する最高裁の違法判決を踏まえ、基準引上げや利用者への補償を国に求めよ。

【区長】 引下げ分の全額を補償すべきであり、機会を捉えて要望する。

【補聴器購入費助成の対象拡大を】 補聴器は難聴者の生活の質を高めるが、高額で利用を諦める方も多い。必要な方が利用できるよう、補聴器購入費助成の所得制限を撤廃するなど対象拡大を図れ。

【副区長】 高齢者ニーズ調査の結果などを基に制度の在り方を考える。

【包括管理業務委託の適正な運用を】 区は学校施設で包括管理業務委託を始める。実施に際しては、公契約条例を踏まえた区内事業者の活用や適正な労働条件の確保を

【警察・消防署】 モニタリングや弁護士などによる監査を実施する。

【外環道工事と地盤沈下の因果関係】 外環道地下工事上部の野川に隣接する地域で地盤沈下が発生した。因果関係が明らかになるまで外環事業者に工事中止を求めよ。

【副区長】 状況把握に努めることも、事業者へ適切な対応を求める。代田一丁目都営住宅の跡地活用を

【質問】 代田一丁目都営住宅の廃止に伴い生じる跡地を有効活用すべきだ。活用の際には地域住民の声を反映するよう都に働きかけよ。

【政策経営部長】 地域や地区などでの行政需要を確認し都へ要望する。

一般質問

11月27日及び28日の本会議では、30名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



桜井 純子
(立無愛)



全区立校へのエレベーターの設置

【質問】 インクルーシブ教育の実現には、配慮を要する子どもが安心して過ごせる学校環境の整備が肝要だ。この視点で全区立校へのエレベーター設置を早急に進めよ。

【答弁】 子どもの入学前から設置の検討を行うなど柔軟な対応を図る。

【世田谷清掃工場建て替えの周知】 世田谷清掃工場は2026年2月からの建て替え工事に伴い、ごみの搬入を停止する。ごみ収集への影響などを不安視する区民の声を受け止め、丁寧な周知に努めよ。

【答弁】 イベントなどの様々な機会を活用して周知の強化を検討する。

【複合的な課題に対する重層的支援】 複合的な課題を抱える子育てに悩む家庭を確実に支援につなぐべきだ。福祉緊急対応の特別支援チームの活用など、従来の枠組みを超えた重層的支援体制を整えよ。

【答弁】 重層的支援により誰一人取り残さない世田谷の実現を目指す。



みや かつり
(立無愛)



教育現場における人権の尊重

【質問】 学校現場で子どもが教員へ暴力を振るう事案が増えている。子どもの人権を尊重しつつ教員の人権を守ること重要と考えるが、区はどのように指導していくのか。

【答弁】 教職員が一体となり子ども自身が改善していくことを支える。

【学校運営の健全化に向けた取組】 教員の離職や精神疾患に伴う休職が増えており対策は急務だ。学校運営の健全化に向け、若手教員の育成に注力するとともに教員

が悩みを相談できる体制を整えよ。

【答弁】 悩みを早期に相談できる環境を整えるなど取組を進めている。

【保護者による過剰な要求への対応】 教員の休職が増加している要因として、保護者からのカススマーハラスメントが挙げられる。区は現状をどのように捉え、教員を守る仕組みを構築していくのか。

【答弁】 学校への支援体制を強化し、教員が安心して働ける環境を築く。



オルズグル
(立無愛)



産業活性化拠点の運営状況の把握

【質問】 産業活性化拠点「ホームワークビレッジ」の健全な運営に向け、来場者数や収益などの状況を十分把握すべきだ。運営事業者から毎月報告を受ける体制を整えよ。

【答弁】 定期的な連絡会などで状況を把握に努め、事業改善に取り組む。

【ホームワークビレッジの環境改善】 ホームワークビレッジは空調設備の設置が十分であるなど、誰もが利用しやすい環境とはいえない。子育て世帯や高齢者など多様な層を包摂できるよう改善せよ。

【答弁】 快適に利用いただけるよう、運営事業者と環境改善を検討する。

【産業交流に係る事業成果の可視化】 多様な人々が集い地域課題の解決が期待できる産業創造プラットフォームでの事業成果を可視化し、参加者増を図るべきだ。事業成果を金銭的に評価し公開せよ。

【答弁】 地域経済の持続可能な発展を目指す会議での検証対象とする。



ひえしま 進
(F行革)



空襲被害者見舞金支給に反対

【質問】 国会での法案成立の後押しを理由にし、区税を使った見舞金支給を進める区長の姿勢には反対だ。そもそも区民からの要望がない中で実施する必要があるのか。

【答弁】 区の取組を発信し、法案制定を後押しできればと考えている。

【外国人解体業者へ指導を徹底せよ】

【質問】 区内で外国人業者が仮囲いなどを設置せずに解体工事を行う事案が発生した。周辺住民の不安の声を踏まえ、ルールを守らない外国人業者への指導を徹底せよ。

【答弁】 パトロールでの指導に加え、分かりやすい啓発方法を検討する。

【デマ対策と「言論の自由」の確保】 杉並区長がSNSなどで誤情報や風説が拡散される事態に備え、関係部局に対策を検討するよう指示したとの報道があった。区長は対策を講じる考えはあるのか。

【答弁】 正確な事実の発信と誤情報の打ち消しが必要と考えている。



若林 りさ
(維新)



AIリテラシー教育の推進

【質問】 AIを悪用した偽画像が拡散する今、子どもが情報の真偽を見抜く力を養うことが重要だ。AIリテラシーを発達段階に応じて体系的に学べる教育環境を整えよ。

【答弁】 次期学習指導要領を見据え、体系的なカリキュラムを検討する。

【産後うつを防ぐ早期支援の導入】 産後うつは自殺や乳児虐待につながる危険要因で迅速な支援が必要だ。早期発見に向け、産後2週間及び1か月に心身の状態を把握する産婦健康診査を導入せよ。

【答弁】 より早い段階での把握が必要と考え、導入の検討を進める。

【熊出没など大型野生動物対策】 熊による被害が全国で多発しており、区内にも出没する可能性があると聞く。区は熊をはじめとする大型獣類の出没に備え、どのような体制を整えているのか。

【答弁】 都や警察などとの連携や危機管理の連絡体制を確認している。



佐藤 美樹
(国都民)



農業と教育が連携した取組の推進

【質問】 千歳台の農園では不登校傾向の子どもが地域の方々と一緒に農作業を行っている。子どもの居場所づくりや農業の魅力発信の意

義を踏まえ、活動の場を拡充せよ。

【答弁】 農業公園の福祉的、教育的な活用などに向けて検討を進める。

【離婚後の親権に係る法改正の周知】 共同親権の導入など離婚後の親権に係る法改正を、区民が正しく理解することが重要だ。子ども

【質問】 共同親権の導入など離婚後の親権に係る法改正を、区民が正しく理解することが重要だ。子ども

【AIを活用した子どもの自殺対策】 中高生の自殺対策にAIを活用すべきだ。区が貸与するタブレット端末で自殺関連の単語が使われた際にAIのチャット相談に誘導するなどの仕組みを検討せよ。

【質問】 自転車の安全な走行環境の整備 自転車の交通違反に反則金を課す青切符制度が導入される。交通ルールの遵守に向け、自転車レーンと車道の間にポールを立てるなど安全な走行環境を整備せよ。

【答弁】 他自治体の整備事例を調査、研究し整備に向けた検討を進める。

【被災状況の情報収集体制の強化】 江戸川区では災害時の被害状況を迅速に把握するため、高所カメラとAIを連携させた被害情報収集システムなど最新の防災技術を導入している。区も導入せよ。

【答弁】 まずは運用方法やランニングコストなどの把握に努める。

【災害に備えた無電柱化の推進】 災害時に倒壊した電柱が緊急車両の妨げとならないよう、道幅が狭い生活道路などへの無電柱化の推進を区に再三求めてきた。進捗状況と今後の見通しを示せ。

【答弁】 6年度末時点で約14kmが完了し、今後も着実に整備を進める。

【区内企業の海外展開への支援】

【区内企業の海外展開への支援】

【区内企業の海外展開への支援】

【区内企業の海外展開への支援】

【区内企業の海外展開への支援】

【区内企業の海外展開への支援】

【区内企業の海外展開への支援】

【区内企業の海外展開への支援】

【区内企業の海外展開への支援】

【区内企業の海外展開への支援】

【質問】 区内には国内有数の義定メーカーなど世界的な競争力を有する企業が存在する。区は区内大使館との定期的な情報交換などを通じて海外への販路拡大を支援せよ。

【答弁】 海外展開の関連経費に活用可能な補助制度の周知に努める。

【台湾高雄市との友好交流協定締結】 区が文化交流に関する覚書を結ぶ台湾高雄市との関係を一層強化すべきだ。2026年3月の覚書更新を機に、経済交流や災害時協力も含む友好交流協定を締結せよ。

【答弁】 将来的な友好交流協定の締結も視野に入れ、関係を深める。

【終活支援センターでの空き家対策】 超高齢社会を迎え、今後管理不全空家が一層増加すると懸念される。区が設置予定の終活支援センターでは、自宅の処分に関する相談についても丁寧に対応せよ。

【答弁】 区が協定を結ぶ空き家に係る窓口など、適切な機関へつなぐ。



坂本 みえこ
(共産)



ごみの収集作業員の熱中症対策

【質問】 ごみの収集は猛暑でも立ち止まることなく作業するため非常に過酷であり、区内でも複数名の職員が熱中症で搬送されたこと聞く。人員増など抜本的な対策を講じよ。

【答弁】 多面的な熱中症予防を推進し、職員の安全管理に努める。

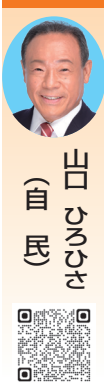
【区立保育園への事務職員の配置】 過去の議会でも保育士の負担軽減に向け区立保育園への事務職員の配置を求めたのに対し、区は業務改善を図ると答えたが、遅々として進まない。配置に踏み切れ。

【答弁】 園長会やコンサルタントなど業務改善の検討を進めている。

【学校での包括的性教育の推進】 子ども・若者は、学校でも家庭でも性の問題を十分に学べず、不確かな情報の渦の中に放置されている。小学生の段階から成長に応じた包括的性教育を実施せよ。

【答弁】 発達段階に応じた包括的性教育の充実に向けて研究を進める。

問 質 一 般



山口 重明
(自 民)



せたがや便利帳の電子化の推進

質問 せたがや便利帳は区の行政サービスなどの情報が一冊にまとまっており大変便利だ。区民がいつでも利用できるよう、広報紙アプリへの掲載など電子化を進めよ。

答弁 アプリへの掲載を検討し、区民サービスの向上に取り組む。

民間空襲被害者支援に対する疑義

質問 区が提案予定の民間空襲被害者への見舞金支給は本来国が行うべき事業だ。国の行動を促す狙いならば、区長はまず特別区長会などで事業の意義を周知せよ。

答弁 被害者支援などの取組が他自治体に広がるよう働きかける。

多摩川河川敷の舗装整備

質問 狛江市などの近隣自治体では多摩川河川敷の舗装が完了し、良好な歩行環境が整う一方、区内での整備は一向に進展がない。今後どのように整備に取り組むのか。

答弁 河川管理者である国などと協働し整備に向け対策を検討する。



河野 俊弘
(自 民)



インクルーシブ教育の実現

質問 インクルーシブ教育の実現には家庭や地域の協力が不可欠だが、PTAやボランティアなどに負担が集中してはならない。役割を整理し持続可能な体制をつくれ。

答弁 正確な情報を発信して家庭や地域をつなぐ取組を進める。

若者の主体的な地域活動の促進

質問 三軒茶屋に整備する青少年交流センターは地域や商店街の協力の下、若者が主体的に挑戦できる場とすべきだ。若者や地域の声を踏まえながら運営体制を整えよ。

答弁 若者が自らの発想などを元に地域と連携できるよう取り組む。

若者の主体的な活動の見える化

質問 若者の挑戦意欲向上に向け青少年交流センターでの活動を可視化すべきだ。地域活動のポイン



青空 ことし
(無所属)



知的障害者の充実した学びの実現

質問 知的障害者の生涯学習の場「いずみ学級」では、障害のある学級生とボランティアの学級主事が様々な活動をしている。活動内容には学級生の意思を反映せよ。

答弁 意見を聞く場を設けて、実施可能な活動を取り入れている。

学級主事の費用負担の現状

質問 いずみ学級の安定運営には、ボランティアとして運営を支える学級主事が安心して活動できる環境が必要だが、外出時の費用は自己負担と聞く。負担の現状をさせ。

答弁 謝礼はあるが、活動の際の交通費などを負担いただいている。

いずみ学級の発展に向けた取組

質問 いずみ学級の発展に向けては、学級主事の担い手確保や参加する学級生の拡大が課題だ。開設60周年を契機とした周知啓発や関係機関との連携強化に注力せよ。

答弁 PR動画の作成や関係機関へのチラシ配布などを行っている。



原田 竜馬
(立無党)



姉妹都市交流の更なる発展

質問 ウィニペグ市との姉妹都市交流の発展に向け、区民に交流の意義や価値を積極的に発信すべきだ。頂いた記念品や学生派遣の記録など交流の財産を広く公開せよ。

答弁 記念品の活用も含め区民の関心が高まるよう周知を充実する。

高齢者のタクシー利用への支援

質問 配車アプリの普及が進み、スマホ操作に不慣れな高齢者などはタクシーを利用しづらい状況だ。公共施設で配車を手伝うなど、移動手段を確保できるよう支援せよ。

答弁 安心して利用できるよう関係所管で連携した取組を検討する。

公共交通政策の今後の展開

質問 シェアサイクルや配車アプリなどの普及により区民の移動手段は多様化している。こうした新たなサービス事業者も交え、今後の公共交通政策の方向性を定めよ。

答弁 当該事業者も交えて、今後の公共交通の在り方を検討する。



大庭 正明
(F 行軍)



区長の自宅問題にまつわる疑惑

質問 区長は自宅改築時に隣地を借りたと言ったが公的な証拠はなく、事実を確認するため当該地の地主を訪ねると区長の弁護士を案内された。地主に圧力をかけたのか。

答弁 区政に直接関係ないことに関して答えるのは適切ではない。

説明から逃げる区長の姿勢

質問 区長は自宅改築時の土地の借用に係る我が会派の質疑に矛盾する答弁や主観にとどまる答弁を繰り返しており、疑念が深まるばかりだ。逃げずに事実を証明せよ。

答弁 先代の地主の厚意で無料で提供してもらったことは事実だ。

区長宅改築時の隣地の借用期間

質問 区長宅を改築する際に区長が借りた主張する土地は借用を裏づける書面がなく、借用期間も不明だ。いつ借りていつ返したのか、その事実を明確に答弁せよ。

答弁 建築前に借用し建築後に返却したが日付までは確定できない。



岡川 大記
(参政党)



区長による根拠のない印象形成

質問 区長はさきの決算委員会で、特定の政党が排外主義を標榜しており危険な思想を持っていると区民の誤解を招くような答弁をした。根拠のない不当な印象形成はやめよ。

答弁 排外主義などを標榜する政党の存在を肯定したわけではない。

区長は政治的中立性を堅持せよ

質問 行政には政治的中立性を保つ義務があるが、区長は特定の政治的立場に偏ったと受け取られか

けない答弁を繰り返している。行政の長として中立性を堅持せよ。

答弁 行政の長として中立性を確保することは重要だと考えている。

区が目指す教育DXの展望

質問 春日井市の出川小では全教科でパソコンを効果的に活用しながら子どもの社会性や人間力を育むICT教育を推進している。区が目指す教育DXの展望を示せ。

答弁 一人ひとりが自ら考える力を養う学びの実現を目指していく。



津上 仁志
(公 明)



一時預かり、一時保育の無償化

質問 未就園児を対象とした保育事業の無償化が進む一方で、ほっとステイなどの一時預かり事業は有料のままで。同様に無償化し、在宅子育て家庭も平等に支援せよ。

答弁 在宅子育て家庭の経済的負担軽減を図れるよう検討を進める。

ごみ屋敷に係る相談への対応改善

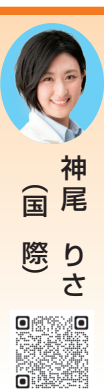
質問 区にはごみ屋敷に関する相談が毎年50件以上も寄せられる。相談者の思いを受け止め、ごみ屋敷と認定されない事業についても助言や支援を行うよう改めよ。

答弁 多角的に支援し完全なごみ屋敷となる前に早期解決に努める。

止水板設置助成制度の創設

質問 目黒区では豪雨による浸水被害を防ぐため、止水板の設置助成制度を大幅に拡充した。区民の財産を守るため、都の補助金を活用し区も同等の制度を創設せよ。

答弁 近隣自治体との均衡も考慮し財政状況を踏まえ検討している。



神尾 りさ
(国 際)



ごみ削減のための環境学習の充実

質問 環境に配慮した持続可能な社会の実現には子どもの意識醸成が不可欠だ。ごみ削減への自発的な行動が広がるよう、発達段階に応じた体験学習の機会を充実せよ。

答弁 保育園での体感的な環境学習を広く展開することを検討する。

区内での交流自治体の魅力の発信

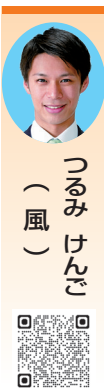
質問 川場村などの交流自治体との関係を一層深めるため、区民に各自自治体の魅力を発信すべきだ。交流先の特産品を公共施設で販売するなど工夫を凝らして取り組み。

答弁 新庁舎に入るコンビニで販売するなど、魅力発信に努める。

子育て家庭への切れ目ない支援

質問 学童期の子どもまでを切れ目なく支援するには、子ども家庭支援センターが調整力を発揮し関係機関と強固な協力体制を構築することが肝要だ。取組方針を示せ。

答弁 子どもの発するサインを見逃さないよう支援体制を構築する。



きくち りょうへい
(風)



窓口混雑の解消に対する区の矛盾

質問 区長は招集挨拶で待合スペースを拡充し、待ち時間の利便性向上を目指すとした。待ち時間の解消の約束を反故にする発言とも取れるが、区の姿勢をさせ。

答弁 窓口混雑の緩和や待ち時間の縮減を目指し各種取組を進める。

児童生徒の暴力行為の未然防止を

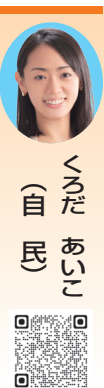
質問 学校における子どもの暴力行為が増加していることが国の調査で判明した。児童生徒が楽しく通える環境を守るため、原因を分析し予防的アプローチを構築せよ。

答弁 関係機関と連携し、予防的アプローチの構築に向け取り組む。

高齢者の居場所問題への基本姿勢

質問 高齢者の居場所づくりが進まない区の現状に高齢者は不安を感じている。高齢者が身近な地区で安心して過ごせる環境づくりについて、区長の基本姿勢を示せ。

答弁 高齢者の居場所を各地域に整備していきたいと考えている。



くらだ あいこ
(自 民)



一時保育・一時預かりの無償化

質問 区内で第一子の保育料が無償化されたが、区の一時的保育や一時預かりは有料のままで。利用者

負担の公平性や子育て家庭を地域で見守る視点に鑑み、無償化せよ。

答弁 公平性や子育て環境の充実などを踏まえ、引き続き検討する。

ファミサポ事業の援助会員の確保

質問 地域で子育て家庭を支援するファミサポ事業が無償化された場合、利用者の増加が見込まれる。有償ボランティアである援助会員の負担軽減と同時に拡充を図れ。

答弁 都の補助を活用した援助会員への謝礼金の上乗せを検討する。

シニア世代の就労環境の整備

質問 就労を希望するシニア世代が多様な働き方を選択できる世田谷を実現すべきだ。高齢者の雇用促進に向け、区内事業者への働きかけや直接的な支援に取り組め。

答弁 採用への理解促進や環境整備につながる働きかけを行う。



関口 江利子
(生 生)



プラスチック分別と資源化の周知

質問 プラスチックの分別収集をしていない最後の特別区となり、再資源化で足を引っ張ることは許されない。分別収集への区民の理解を得るために周知徹底せよ。

答弁 様々な媒体を活用した重点的な広報を継続して実施する。

命を守る金銭管理の支援について

質問 本人の了承なしに支援できない金銭管理は、生活に支障が出て命に関わることもある。新設する(仮称)終活支援センターでは、深刻な事態の支援体制を強化せよ。

答弁 多機関協働による支援を行い、本人の生活の質向上に努める。

独居高齢者の退院支援サービス

質問 入院時の支援では、退院後に必要な医療・介護サービスまで考慮することが重要だ。(仮称)終活支援センターでは、生活再建を含めた退院支援も追加せよ。

答弁 円滑に在宅生活へ移行できるように関係機関と連携し支援する。



Page 10 of 10

次回の定例会は2月中旬から開催する予定です

(1ページからの続き)

●工事請負契約の変更 2件

○旧保健センター解体工事 (全員賛成)

地中障害物の発見に伴う撤去工事の実施及び公共工事設計労務単価に係る特例措置の適用により、工期を10年3月31日に変更するとともに、契約金額を一三億五六七一万八千円に変更する。

○玉川野毛町公園第2期拡張工事 (全員賛成)

同敷地内の拠点施設他新築工事の工期延伸に伴い、外構工事も延伸する必要があるため、工期を8年7月1日に変更する。

●財産の取得 1件

○電動式移動棚 (全員賛成)

相手方Ⅱ株式会社ヤナギ設置施設Ⅱ区役所西棟地下1階購入機器Ⅱ電動式移動棚59台

契約金額Ⅱ二億一、二〇万円

●指定管理者の指定 4件

○知的障害者生活寮 (全員賛成)

施設名称 指定管理者

松原けやき寮 社会福祉法人 せたがや桜の木会

○身体障害者自立体験ホーム (全員賛成)

施設名称 指定管理者

身体障害者自立体験ホームなかつち 特定非営利活動法人つどい

○障害者福祉施設 (全員賛成)

施設名称 指定管理者

ほほえみ経堂 労働者協同組合ワ

すまいる梅丘 ーカーズコ

三宿つくしんぼ 社会福祉法人全国

ホーム 重症心身障害児 (者) を守る会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会

議会日誌

閉会中に開催された委員会

11月4日(火)	議運
7日(金)	懲罰
10日(月)	企画、区民、文教
11日(火)	福祉、都市
12日(水)	企画、DX推進、災害防犯、子ども、環境清掃
17日(月)	議運、懲罰
12月16日(火)	子ども
18日(木)	企画、区民、文教、議運、子ども(視察)
19日(金)	福祉、都市、議運

会期中の主な会議日程

11月26日(水)	第4回定例会本会議(代表質問など)、企画、議運
27日(木)	本会議(代表質問、一般質問、議案の付託)、企画、議運
28日(金)	本会議(一般質問、議案の議決、議案の付託、請願の付託)、議運
12月1日(月)	企画、区民、文教
2日(火)	福祉、都市
3日(水)	DX推進、災害防犯、子ども、環境清掃
5日(金)	本会議(議案の議決、請願の付託など)、議運
22日(月)	第3回臨時会本会議(議案の付託、議案の議決、請願の付託など)、企画、議運

委員会名称

企画=企画総務常任委員会	区民=区民生活常任委員会
福祉=福祉保健常任委員会	都市=都市整備常任委員会
文教=文教常任委員会	議運=議会運営委員会
DX推進=DX・地域行政・公共施設整備等推進特別委員会	
災害防犯=災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会	
子ども=子ども・若者施策推進特別委員会	
環境清掃=環境・清掃・リサイクル対策等特別委員会	
懲罰=懲罰特別委員会	

美子氏を候補者として法務大臣あてに推薦することを可とする。

●教育委員会教育長任命の同意 1件

(全員賛成) 知久、孝之氏(再任)

●教育委員会委員任命の同意 1件

(全員賛成) 膳場、美帆氏(新任)

●議員提出議案 1件

○羽田圭二副議長に対する不信任決議

賛成多数 野田、無所属、共産、国民、生、虹、出、賛成多数 野田、無所属、共産、国民、生、虹、出

決議の内容は以下のとおりー

●議員の懲罰 1件

7年第三回定例会で継続審議となっていた、決算運営委員会での発言に対する懲罰動議について審議した結果、懲罰を科さないものと決定した。

第4回定例会

請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。審議が終わったもの

◆採択したもの 1件

○固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する請願 (全員賛成)

新しく出されたもの

◆文教常任委員会に付託 1件

○世田谷区内の小・中学校における「いじめ」をなくす取り組みに関する陳情

◆子ども・若者施策推進特別委員会に付託 2件

○在宅育児支援手当の導入に関する陳情

○保育所等の入園見通しに関する情報提供と実態把握のあり方に関する陳情

第3回臨時会

議決内容

議決した案件の概要をご紹介します。第3回臨時会には、区長から1件の案件が提出され、可決しました。

●7年度補正予算 1件

○一般会計(第五次) (全員賛成)

国の交付金を活用した物価高騰対策を実施するため、歳入歳出予算それぞれに七四億二九一五万三千円を追加する。五次補正後の予算額は四一三七億七三〇二万円となる。

第3回臨時会

請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。審議が終わったもの

◆趣旨採択したもの 1件

○保育所等の入園見通しに関する情報提供と実態把握のあり方に関する陳情 (全員賛成)

◆新しく出されたもの 1件

○世田谷区議会が12月5日に可決した不信任決議に従い、羽田副議長に対して辞任するよう求める陳情

決議

羽田圭二副議長に対する不信任決議

本年5月19日の令和7年第2回世田谷区議会臨時会において副議長に選出された羽田圭二副議長は、就任時のあいさつで「議会が区民にとつて開かれた議会、そして見える議会、このことがこの議会でも改めて問われていると思います。このこともしっかりと皆さんと一緒に進めさせていきたい」と思っており、また述べられた。

しかしながら羽田圭二副議長は、本年10月の決算特別委員会の期間中に所属会派の幹事長と共に我々の議員控室を訪れ、他会派の委員が区長に対する質疑を繰り返していること、また翌週行われる補充質疑においても区長本人に対し、同様の質疑が再び繰り返されることについて懸念を示す態度を明確に示した。

複数の会派に対して同様な行動を起こしていることは、羽田圭二副議長自らも発言されており、このような一連の行為は、水面下で議員の質問権や発言権を制限、封殺するものであると断言せざるを得ない。開かれた議会を皆さんと一緒に前進させる」との就任時の表明とは言行不一致の振る舞いであり、公平かつ中立な立場である副議長としてあるまじき行為である。

今般の羽田圭二副議長の不適切な言動は、自由闊達な議論を自負している世田谷区議会において信頼を失墜する悪影響を及ぼしており、副議長の任に相応しくないことは明らかであるため、ここに、羽田圭二副議長の不信任を決議する。

令和7年12月5日

要望書

区議会は、次の要望書を関係機関あてに提出しました。

固定資産税及び都市計画税の軽減措置等の継続を求める要望書

令和7年11月12日

東京都知事 あて

会派等の構成と名称の変更

おぎのけんじ議員が、12月5日付で新たに「世田谷刷新の会」を結成しました。また、無所属・世田谷行革10番」は、12月9日付で会派名を「改革無所属の会」に変更しました。

この結果、区議会の会派等の構成は次のとおりになりました。

自由民主党世田谷区議団 13人

立憲民主党・無所属・愛世田谷区議団 8人

公明党世田谷区議団 8人

改革無所属の会 4人

日本共産党世田谷区議団 4人

国民民主党・都民ファーストの会 3人

生活者ネットワーク世田谷区議団 2人

レインボー世田谷 1人

世田谷無所属 1人

世田谷刷新の会 1人

国際都市せたがや 1人

せたがやの風 1人

参政党 1人

日本維新の会 1人

無所属 1人

合計 50人

委員の辞任

○議会運営委員会 穴戸、三郎(自民)

○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。

TEL(5432) 2779

FAX(5432) 3030

本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容については、会議録(第4回定例会の分は2月中旬第3回臨時会の分は2月下旬の発行予定)をご覧ください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、まちづくりセンターに備えてあります。また、ホームページでもご覧いただけます。

